

確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

権利擁護／虐待防止①基礎知識編～④高齢者虐待の実態（施設編）

1) 虐待の発生割合が最も多いのは、認知症の重症度別ではどれでしょうか？

- ①認知症日常生活自立度Ⅰ
- ②認知症日常生活自立度Ⅱ
- ③認知症日常生活自立度Ⅲ
- ④認知症日常生活自立度Ⅳ
- ⑤認知症日常生活自立度Ⅴ
- ⑥自立、又は認知症なし

2) 1) の答えである高齢者への虐待が一番多い理由を考えてみましょう。（所要時間：5分）

3) 虐待の発生要因で最も多いのはどれだと思いますか？

- ①虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ
- ②教育・知識・介護技術等に関する問題
- ③人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ
- ④倫理観や理念の欠如
- ⑤虐待を行った職員の性格や資質の問題
- ⑥職員のストレスや感情コントロールの問題

4) 認知症重症度と虐待の発生要因の調査結果からどんなことが考えられるか思いつくものを書き出してみましょう。（所要時間：5分）

5) 高齢者虐待防止法による高齢者虐待の種類には、以下の5つがあります。空欄には何が入りますか？

- ①（\_\_\_\_\_）虐待
- ②介護等放棄（ネグレクト）
- ③心理的虐待
- ④性的虐待
- ⑤経済的虐待

6) 以下は、何虐待に当たるでしょうか？ ※いずれも同じ種類の虐待です。

- ・暴力的行為
- ・本人の利益にならない強制による行為、代替方法を検討せずに高齢者を乱暴に扱う行為
- ・「緊急やむを得ない」場合以外の身体拘束

7) 以下は、何虐待に当たるでしょうか？ ※いずれも同じ種類の虐待です。

- ・必要とされる介護や世話を怠り、高齢者の生活環境・身体や精神状態を悪化させる行為
- ・高齢者の状態に応じた治療や介護を怠ったり、医学的診断を無視した行為
- ・必要な用具の使用を限定し、高齢者の要望や行動を制限させる行為
- ・高齢者の権利を無視した行為またはその行為の放置

8) 以下は、何虐待に当たるでしょうか？ ※いずれも同じ種類の虐待です。

- ・威嚇（いかく）的な発言，態度
- ・侮辱的な発言，態度
- ・高齢者や家族の存在や行為を否定、無視するような発言，態度
- ・高齢者の意欲や自立心を低下させる行為
- ・羞恥心の喚起

9) 以下は、何虐待に当たるでしょうか？ ※いずれも同じ種類の虐待です。

- ・高齢者にわいせつな行為をすること
- ・高齢者にわいせつな行為をさせること

10) 以下は、何虐待に当たるでしょうか？ ※いずれも同じ種類の虐待です。

- ・金銭を借りる、脅し取る
- ・着服・窃盗・横領
- ・不正使用

11) 虐待はどんな罪になると思いますか？

- |       |   |       |     |
|-------|---|-------|-----|
| 身体的虐待 | → | _____ | 罪など |
| 介護等放棄 | → | _____ | 罪など |
| 心理的虐待 | → | _____ | 罪など |
| 性的虐待  | → | _____ | 罪など |
| 経済的虐待 | → | _____ | 罪など |

12) 高齢者施設で最も多く発生しているのは、どんな虐待だと思いますか？

- ①身体的虐待
- ②介護等放棄（ネグレクト）
- ③心理的虐待
- ④性的虐待
- ⑤経済的虐待

13) 介護保険施設のうち、特養と老健ではどちらの方が虐待発生件数が多いと思いますか？

またその理由も述べてください。

- ①特別養護老人ホームが多い
- ②介護老人保健施設が多い

その理由：

14) 虐待を行った年齢層では、どの年代が最も多いと思いますか？

- ①30歳未満
- ②30～39歳
- ③40～49歳
- ④50～59歳
- ⑤60歳以上

権利擁護／虐待防止①基礎知識編～④高齢者虐待の実態（施設編）

1) 解答 ③認知症日常生活自立度Ⅲ 31.7%

(内訳)

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 認知症日常生活自立度Ⅰ        | 4.3%         |
| 2. 認知症日常生活自立度Ⅱ        | 16.7%        |
| <b>3. 認知症日常生活自立度Ⅲ</b> | <b>31.7%</b> |
| 4. 認知症日常生活自立度Ⅳ        | 15.7%        |
| 5. 認知症日常生活自立度Ⅴ        | 2.5%         |
| 6. 認知症自立又は認知症なし       | 2.0%         |

不明・その他 27.1%

<解説>

認知症日常生活自立度Ⅲが全体の約3分の1を占めていることが分かります。認知症のご利用者がある施設では、どこでも虐待が発生する可能性があることを示すデータであると言えます。

2) 解答(例)

- ・認知症日常生活自立度Ⅲは、排泄、食事、入浴などがご自分でできなくなるレベル。それらに対する拒否的な反応が虐待につながる。
- ・認知症日常生活自立度Ⅲは、不眠などの睡眠障害、昼夜逆転が増えるレベル。人数が少ない夜勤帯で対応しなければならぬことが、虐待につながる。 などなど

<解説>

ご利用者の認知症状が、介護職員の心理的・身体的ストレスとなり、ひいては虐待を引き起こすことが予測されます。

3) 解答 ②教育・知識・介護技術等に関する問題 66.9%

(内訳) ※複数回答

- ・虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ 8.8%
- ・教育・知識・介護技術等に関する問題 66.9%
- ・人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ 8.8%
- ・倫理観や理念の欠如 12.5%
- ・虐待を行った職員の性格や資質の問題 12.0%
- ・職員のストレスや感情コントロールの問題 24.1%

<解説>

教育・知識・介護技術等に関する問題と職員のストレスや感情コントロールの問題は関連するものであり、認知症のある方への不適切な対応が、虐待の発生につながる可能性を示唆しています。

4) 解答(例)

- ・認知症の知識不足が虐待につながるのかも。

- ・認知症のあるご利用者への対応がうまくできないストレスが虐待につながる。
- ・虐待を行った職員の性格や資質の問題はそれほど多くないことから、普通の職員が虐待を起こすのかもしれない。  
などなど

<解説>

1) 2) 3) を通して読み取れるのは、認知症に対する専門知識を身につけた上での適切な対応が、虐待防止には欠かせないことです。

5) 解答 ① ( 身体的 ) 虐待

<解説>

高齢者虐待防止法では、身体的虐待、介護等放棄（ネグレクト）、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の5つを虐待としています。この5種類の虐待は、障害者虐待防止法と同一のものとなっています。

6) 解答 身体的虐待

<解説>

暴力的行為は言語道断ですが、本人の利益にならない強制による行為も身体的虐待になることに留意する必要があります。「代替方法を検討せずに高齢者を乱暴に扱う行為」も身体的虐待です。「忙しいので仕方ない」では身体的虐待になることもあります。

7) 解答 介護等放棄（ネグレクト）

<解説>

介護等放棄は、適切なケアを怠るだけを指すものではなく、ご利用者の権利を無視した行為も介護等放棄になることに留意する必要があります。

8) 解答 心理的虐待

<解説>

発言だけではなく、態度も心理的虐待にあたります。無視したつもりでなくても、ご利用者が「無視した」と思うと不適切ケア、ひいては心理的虐待になることに留意する必要があります。

9) 解答 性的虐待

<解説>

性的虐待は、強制性交等罪（旧：強姦罪）に問われると原則として執行猶予のつかない実刑判決を受ける重罪です。

10) 解答 経済的虐待

<解説>

「ご利用者から預かっているお金を使う」「ご利用者の私物を勝手に使う」なども経済的虐待になります。

11) (例)

- ・身体的虐待 ➡ 暴行罪、傷害罪など

●暴行罪：2年以下の懲役

- ・介護等放棄 → 保護責任者遺棄罪 など
  - 3か月以上5年以下の懲役
- ・心理的虐待 → 名誉棄損，侮辱罪など
  - 侮辱罪：1～30日の拘留
- ・性的虐待 → 強制性交等罪，強制わいせつ罪など
  - 強制性交等罪：5年以上20年以下の懲役
- ・経済的虐待 → 窃盗罪，詐欺罪など
  - 窃盗罪：10年以下の懲役

<解説>

高齢者虐待防止法は，虐待防止を図るための法律です。そのため，同法による罰則は設定されず，それぞれの虐待内容に応じた罪に問われます。

12) 解答 最も多いのは，①身体的虐待 65.5%

(内訳) ※複数回答

- ・身体的虐待 65.5%
- ・介護等放棄 27.0%
- ・心理的虐待 27.5%
- ・性的虐待 2.8%
- ・経済的虐待 9.1%

<解説>

最も多く発生しているのは，身体的虐待です。しかし決して数は多くはないものの性的虐待や経済的虐待が発生していることに留意する必要があります。

13) ①特別養護老人ホームが多い

その理由(例)：介護度が重いと虐待が増える

14) 最も多いのは，②30～39歳 21.9%

(内訳)

- ・30歳未満 19.7%
- ・30～39歳 21.9%
- ・40～49歳 18.8%
- ・50～59歳 15.1%
- ・60歳以上 12.2%

<解説>

最も多いのは30～39歳ですが，どの年代も大きくは変わりません。つまり，どの年齢層でも虐待者になる可能性があることを示唆しています。